



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 三洋工業株式会社

コード番号 5958 URL <http://www.sanyo-industries.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 菊地 政義

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 小宮山 幹生

TEL 03-3685-3451

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	11,449	9.6	△47	—	△3	—	△37	—
23年3月期第2四半期	10,445	△11.9	△798	—	△748	—	△806	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △57百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △857百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△1.08	—
23年3月期第2四半期	△23.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	20,059	9,895	48.0	276.61
23年3月期	22,139	10,024	44.1	280.16

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 9,631百万円 23年3月期 9,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,500	5.1	350	—	400	—	400	—	11.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、(添付資料)4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	35,200,000 株	23年3月期	35,200,000 株
24年3月期2Q	378,799 株	23年3月期	377,828 株
24年3月期2Q	34,821,508 株	23年3月期2Q	34,824,203 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成24年3月期の期末配当につきましては、平成23年3月期決算短信(平成23年5月13日開示)における配当予想から修正しております。詳細につきましては、平成23年10月11日に公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
・上記業績予想は、平成23年3月期決算短信(平成23年5月13日開示)における業績予想から修正しております。詳細につきましては、平成23年11月8日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月～平成23年9月）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧が着実に進み、景況感に持ち直しの傾向が見られました。しかしながら、原発事故による電力使用制限や放射能汚染問題、さらには長期的な円高や株安、米国の景気低迷、欧州の財政問題など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの関連する建築業界におきましては、新設住宅や民間非居住物件の着工に改善の動きが見られましたが、建築需要は総じて低水準にあり、依然として本格的な回復には至っておりません。

このような状況の中で当社グループは、縮小化した経済環境下でも安定的に利益を上げられる体制づくりを目指した「経営改善計画」に沿って、事業所の統廃合や固定費の削減および徹底した原価低減に努めてまいりました。また、重点商品の販売強化に注力する一方、震災復旧需要にグループを挙げて機動的に対応するほか、関心の高まる耐震、省エネ関連製品等の開発および拡販にも全力で取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は11,449百万円（前年同期10,445百万円）となり、利益面では、営業損失47百万円（前年同期営業損失798百万円）、経常損失3百万円（前年同期経常損失748百万円）、四半期純損失37百万円（前年同期四半期純損失806百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 三洋工業

主力製品群である軽量壁天井下地につきましては、ビルやマンション用の製品に改善傾向が見られたほか、戸建住宅用の製品においても新設住宅着工戸数の回復基調を背景に売上高が好調に推移したため、軽量壁天井下地全体の売上高は前年同期を上回る結果となりました。

床システムにつきましては、オフィス用の置敷式OAフロアの売上高が堅調に推移しましたが、主力製品であるスポーツ施設用の鋼製床下地材製品やマンション用の遮音二重床製品の売上高が低調であったことなどから、床システム全体の売上高は減少となりました。

アルミ建材につきましては、震災復旧の影響もあり、耐震関連製品であるエキスパンション・ジョイントカバーの受注が飛躍的に増大したほか、その他のアルミ製品についても、新築・改修需要を着実に取り込んだことなどから、アルミ建材全体の売上高は大幅な増加となりました。

この結果、売上高は9,512百万円（前年同期8,556百万円）、セグメント損失は83百万円（前年同期セグメント損失703百万円）となりました。

② システム子会社

当社の子会社であるシステム会社（株式会社三洋工業九州システムほか）におきましては、震災のあった東北地区において復旧のための緊急工事が優先され、本来予定されていた新築・改修工事の計画が大きく見直されたことによって、同地区における床システム製品の売上高は大幅な減少を余儀なくされました。また、こうした状況に加え、各社の業績が下期偏重型になっていることもあり、システム会社全体の売上高は2,008百万円（前年同期2,032百万円）、セグメント損失は4百万円（前年同期セグメント損失91百万円）となりました。

③ スワン商事

当社の子会社でアルミ建材を製造、販売するスワン商事株式会社におきましては、主力製品であるシャッター製品の売上高が増加したものの、手摺製品等が落ち込んだことなどから、売上高は257百万円（前年同期206百万円）、セグメント損失は4百万円（前年同期セグメント損失39百万円）となりました。

④ その他

その他につきましては、売上高123百万円（前年同期106百万円）、セグメント利益は8百万円（前年同期セグメント利益0百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、主に受取手形及び売掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ2,079百万円減少し、20,059百万円となりました。

負債につきましては、主に支払手形及び買掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ1,950百万円減少し、10,163百万円となりました。

純資産は、主に配当金の支出があったことにより、前連結会計年度末に比べ、129百万円減少し、純資産合計は9,895百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,051百万円となり、前連結会計年度末に比べて413百万円増加しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は577百万円（前年同期252百万円）となりました。

主な内訳は、税金等調整前四半期純損失35百万円、売上債権の減少額3,245百万円、たな卸資産の増加額787百万円および仕入債務の減少額1,736百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は65百万円（前年同期14百万円）となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出80百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は98百万円（前年同期216百万円）となりました。

これは、主に長期借入金の返済による支出25百万円と配当金の支払額68百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期（平成23年4月1日から平成24年3月31日）の連結業績予想につきましては、第2四半期までの業績及び今後の動向等を勘案し、平成23年5月13日に公表した予想数値を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、平成23年11月8日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,219	2,632
受取手形及び売掛金	10,952	7,804
有価証券	468	469
商品及び製品	1,640	2,220
仕掛品	90	87
原材料及び貯蔵品	767	977
繰延税金資産	27	53
その他	41	44
貸倒引当金	△156	△114
流動資産合計	16,052	14,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,879	1,818
機械装置及び運搬具（純額）	626	550
土地	2,389	2,389
その他（純額）	111	91
有形固定資産合計	5,006	4,849
無形固定資産	32	34
投資その他の資産		
投資有価証券	322	301
繰延税金資産	5	5
その他	1,003	881
貸倒引当金	△284	△188
投資その他の資産合計	1,047	999
固定資産合計	6,086	5,884
資産合計	22,139	20,059

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,853	6,117
短期借入金	966	950
未払法人税等	121	34
賞与引当金	105	67
役員賞与引当金	12	6
災害損失引当金	70	77
その他	627	588
流動負債合計	9,756	7,841
固定負債		
社債	600	600
長期借入金	9	—
繰延税金負債	5	1
退職給付引当金	1,339	1,311
その他	403	409
固定負債合計	2,357	2,322
負債合計	12,114	10,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,760	1,760
資本剰余金	1,168	1,168
利益剰余金	6,931	6,824
自己株式	△106	△106
株主資本合計	9,753	9,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	△14
その他の包括利益累計額合計	1	△14
少数株主持分	268	263
純資産合計	10,024	9,895
負債純資産合計	22,139	20,059

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	10,445	11,449
売上原価	8,191	8,750
売上総利益	2,253	2,698
販売費及び一般管理費	3,052	2,746
営業損失(△)	△798	△47
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	4	4
受取賃貸料	50	53
作業くず売却益	8	11
その他	38	11
営業外収益合計	109	84
営業外費用		
支払利息	13	10
不動産賃貸費用	22	29
休業手当	20	—
その他	3	1
営業外費用合計	59	41
経常損失(△)	△748	△3
特別損失		
固定資産除却損	1	0
減損損失	6	—
災害による損失	—	31
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	57	—
特別損失合計	64	31
税金等調整前四半期純損失(△)	△813	△35
法人税等	10	5
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△823	△40
少数株主損失(△)	△16	△3
四半期純損失(△)	△806	△37

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△823	△40
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	△16
その他の包括利益合計	△33	△16
四半期包括利益	△857	△57
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△840	△54
少数株主に係る四半期包括利益	△16	△3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△813	△35
減価償却費	199	183
減損損失	6	—
災害損失	—	31
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	57	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3	△28
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	△38
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6	△6
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27	△137
受取利息及び受取配当金	△11	△9
支払利息	13	10
固定資産除却損	1	0
売上債権の増減額(△は増加)	2,845	3,245
たな卸資産の増減額(△は増加)	△558	△787
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,327	△1,736
未払消費税等の増減額(△は減少)	△96	△51
その他	67	55
小計	347	697
利息及び配当金の受取額	11	9
利息の支払額	△13	△10
法人税等の支払額	△93	△118
営業活動によるキャッシュ・フロー	252	577
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30	△80
有形固定資産の売却による収入	14	—
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
貸付けによる支出	△0	△1
貸付金の回収による収入	3	2
その他の支出	△2	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	820	575
短期借入金の返済による支出	△938	△575
長期借入金の返済による支出	△25	△25
配当金の支払額	△69	△68
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△216	△98
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	20	413
現金及び現金同等物の期首残高	3,605	2,638
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,626	3,051

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。